

教科・分掌名	係	項目	具体的目標 (PLAN)	具体的な取り組み (DO)	具体的な評価基 (具体的な達成目標) (数値目標など)	評価 (CHECK)		中間評価をうけての今後の取組	次年度への課題や更新、改革案 (ACTION)		
						中間評価	期末評価				
総務部	PTA		各種会議・行事への参加者を一定以上にする。	個々にできるだけ参加するよう呼びかける。	4 8割以上 3 6割以上 2 4割以上 1 4割以下	3	出席率は理事会が8割、総会は3割であった。	3	持久歩大会における支援活動にも大半の理事の参加が得られた。	連絡なしの欠席は皆無に近い。今後とも保護者との連絡を密にしてい	保護者との直接対話の機会をできるだけ多くする。
	校史同窓会		将来、校史資料となるよう資料の収集を行う。	新聞の切り抜き、学校行事の写真撮影などを行う	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3	できていると思っているが、学校行事の記録写真は係がやってくれていると思っている。	4	学校行事や新聞の切り抜きなど、よくできている。	記録は確実か？時にはチェックする必要がある。	新名簿作成、50周年記念誌作成準備開始の年となる。しっかり準備したい。
	食堂厚生		・より良質で安価な食品を提供する。 ・職員への周知、徹底をはかる。	・原材料の工夫。 ・生徒の嗜好と栄養バランス。 ・生徒が利用しやすくする。 ・掲示物の案内と配布。	4 生徒がほぼ毎日利用する 3 //よく利用する 2 //ときどき利用する 1 //ほとんど利用しない		2学期から新しいメニューを追加した。	3	新しいメニューは好評である。	今後とも、生徒のニーズに応じていくよう努力する。	新しいメニューの入れ物の処理に問題があり、その解決が今後の課題である。
教務部	庶務	④	各行事の効率的・効果的な準備・運営をめざす。	各行事の反省点・改善策を共有し、今年度に積極的に活かすために、過年度の行事反省記録を事前に配布・周知をする。	4 8回以上 3 6回 2 4回 1 2回以下	2	各行事の改善策等の情報が、各分掌内でとどまって、全体で共有できていないところもある。	3	行事反省については職員会議にて報告している。	改善策等の情報の一元化をはかり、庶務で取りまとめ、来年度に生かせるように準備をしていく。	今年度の行事の反省・課題・改善等について、来年度の分掌のキャップに確実に引き継ぐ。
	諸表簿		毎日、毎月初め、5月、学期末、年度末、年度初めの記録、点検を正確にする。	誤字、脱字、記入漏れなどを正確にチェックする。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	3	できていると思う。	3	できていると思う。	今後とも担任が出席簿の記入等がきちんとできるように前もって見本を提示し、点検を正確にする。	担任が記入しやすいように、学期ごとに記入例を提示する。
	現職教育		教授法の向上・改善を図る。	研究授業・授業参観を通して、常に、指導法の向上を念頭において教材研究等に取り組む姿勢を保つ。	4 参観回数3回以上 3 参観回数2回 2 参観回数1回 1 参観回数0回	2	関係教科になんとか参観というのが現状で、教科の枠を超えてというのがまだまだ十分ではないようだ。	2	中間期同様、なんとか関係教科に参観しているという状況である。記録記入についても呼びかけが足りなかった。	・職員への周知を確実にする。 ・参観の記録を確認する。	・毎回必ず、記録記入も含めて職員への周知を行う。 ・研究授業の時間帯も多くの職員が参観できるよう可能な限り配慮する。
	時間割	④	4月1日には時間割を完成させる。	時間割係と教科主任が協力、すみやかに作成する。	4 予定通り作成できた 3 1週間遅れた 2 4月に大幅な改訂をせまられた 1 できなかった	4	できた	4	できた	・来年も今年度のように続けたい。	・来年度も今年度のようにスムーズに作成した。
		④	行事等の特別時間割を1週間前までに作成し職員に周知する。	2週間前から出張等の予定を調査し計画的に作成する。	4 予定通りできた 3 5日前になった 2 3日前になった 1 前日になった	4	できている。	4	できている。	・残りの特別時間割も計画的に作成していきたい。	・全員の協力の下、来年も計画的に作成したい。
	奨学生	⑤	生徒・保護者への情報伝達を確実にする。	個別・教室掲示用のプリントによって、こまめに連絡する。	4 昨年より 3 昨年並み 2 昨年以下 1 利用者なし	3	できていると思う。	3	できていると思う。	中途採用も可能なので、相談にくるように促したい。	次年度は4月の早い段階から受付があるので、新入生向けのものも含め、早急に準備する。
	基礎学力	①	英語・数学・国語の基礎的な学力の定着をはかる。	基礎力テストを実施する。	7割の合格率をめざす		合格率は、1年生は8割に達しているが、3年が低く、全体としてはほぼ7割である。		中間と同様である。	今後ともきめ細かく指導していく。	今後とも不合格者の指導の充実を図りたい。
	インターシップ		2年全員がインターシップに参加する。	10月ごろより担当者で企業訪問をして受け入れ先を確保する。	全員の受け入れ先を確保する。		2月8～10日を実施することを決定しており10月以降担当者で活動をする予定		12月24日時点で115名の受け入れ先を確保しており予定通り実施できる予定	12月中旬に104名の受け入れ先を確保したい	来年も景気の動向は、厳しそうであるが2年生全員の参加を目指したい。
初任研		初任者研修の計画を立てる。	計画通りに進むように、初任者の激励と援助をする。	4 80%計画通りに進んだ 3 60%計画通りに進んだ 2 40%計画通りに進んだ 1 大幅な計画の見直しをした	3		4		・計画よりも遅れるときもありましたが、今後はできる限り計画通りにしたい。 ・激励と援助を今後もっとしていきたい。	・研究授業が計画通りの月に実施できないときもあったが、何とか最後までには修了できた。	
生徒指導部	生活指導		携帯電話の使用マナーを身につけさせる。	・ケータイ安全教室の実施。 ・校内持ち込み届提出者への校内使用ルール徹底の徹底。 ・フィルタリングの設定推進。	・年1回の実施 ・届け出違反、校内ルール違反者なくす ・携帯所持生徒全員のフィルタリング設定		4月末に実施 校内持ち込み届はほぼ全員が提出、今のところ違反者も少数である。 フィルタリングについて設定推進の継続が必要		実施済み 校内ルールは守られている。 フィルタリング設定をしていない生徒が少なくない。	・来年度も実施予定 ・今後も持ち込み希望者へはルールの厳守をさせていく ・定期的に呼びかけを続ける	次年度も実施したい。  ケータイマナーのさらなる向上を図る  引き続き推進を図る。
			基本的な生活習慣を身につけさせる。	・学期に1回以上の頭髪・服装指導。 ・遅刻指導(遅刻回数による段階指導)。	・頭髪・服装違反者なくす ・遅刻者の減少		頭髪、服装指導は継続して行う必要あり 遅刻は減少傾向		予定通り実施 実施	・今後も指導をしていく ・生活リズムを整えるよう呼びかけ等を行う	次年度も実施を継続  遅刻の多い生徒への指導を継続

	交通指導		交通マナーを身につけさせる。	・自転車検定の実施。 ・自転車車体検査の実施。 ・交通講話の実施。	・より多くの検定合格者をだす ・自転車通学者の整備不良車をなくす ・年1回の実施		7月に実施 整備不良車の改善指導を実施した 12月に実施予定		予定どおり実施できた。	・整備不良車が減少するよう指導していく ・早めの計画を立てる	警察との連携を図り、自転車運転のマナーに対しては特に指導をしていきたい。
			運転免許取得。	・11月以後自動車学校見回り実施。	・入校届けを提出させる		10月に周知、指導の予定		巡回は実施中。入校届けの提出状況はよい。	・早めの計画を立て指導していく	早めの提出を促す。
	集団指導		集団行動での規律を高める。	・素早く整列するよう指導する。 ・服装を整えるよう指導する。 ・クラス担任にも協力してもらう。	・学校行事等の集会時に素早く集合、整列できているか ・集合時に服装を整えているか		学校行事等の集会時の集合の早さはある程度素早くできている。ただし、整列時の姿勢や話を聞く態度にまだまだ改善の必要性がある		学校行事等の集会はかかなり素早くできている。整列時の姿勢にも改善がみられてきたが、話を聞く態度はまだ改善の必要性がある	集団での活動の場面で、聞く態度も含めて注意喚起をする。	集団での活動の場面で、学級担任等の協力を仰ぎながら、聞く態度の指導を継続する。
特別活動部	ホームルーム		充実した内容のホームルームの実施を行う。	ホームルームのテーマに対応した分掌に担任がホームルームを行うに当たって参考になるような資料・指導案の作成を依頼する。	4 よくできた 3 できた 2 あまりできなかった 1 できなかった	2	年度当初の予定にない行事が入り、予定通りできないテーマがあった。	3	中間時における反省は、3学期は生かされた。	各分掌への依頼が遅く、対応遅れが生じないように、早め早めの計画を心がけたい。	早い段階での年度予定を知ること、急な変更があった際、早急に周知される連絡体制が必要だと感じる。
	生徒会		執行部の活性化を図る。	執行部が中心になって、一般生徒も巻き込みながら、諸活動に取り組む。	4 よくできた 3 できた 2 ややできた 1 できなかった	3	まだ一般生徒を巻き込めてはいない	3	執行部としては活動できたが、インフルエンザの流行もあり、一般生徒を巻き込む機会を失った。	一般生徒が活動できるように執行部が準備をする。	執行部と一緒に活動する自主的な一般生徒を募集するなど、一般生徒との結びつきを図る。
	部活動		部活動の活性化のため、高い入部率の維持を図る。	部活変更などにも柔軟に取り組む。	4 入部率90%以上 3 80%以上 2 70%以上 1 70%未満	4	1、2年生が全員入部になり入部率は高くなった。	4	退部者の再入部が割とできている。	退部状態の者数名に入部を促す。	退部したまま再入部できない者を今後とも少人数に押さえるとともに、何らかのフォローをする。
			部活動の活性化のため、部員でありながら活動できていない生徒を少なくする。	部活動の計画的な実施をお願いする。	4 不活動5%未満 3 10%未満 2 15%未満 1 15%以上		未調査(9月中に実施予定)	1	文化部こ名前だけ置いた状態の者が多くいることがわかった。		実質的な全員入部に近づけるように、まずは各部で工夫して取り組んで貰うようお願いする。
	ボランティア		ボランティア精神を広める。活動に参加する生徒を増やす。	県内の各種ボランティア活動の紹介・広報を行う。生徒会の奉仕部長を中心に各種ボランティア活動に参加して、輪を拡げる。	4 日常的に多くの生徒がボランティア活動を行う 3 年間数回活動に参加する 2 年間1～2回活動に参加する 1 活動がない	2	まだ一般生徒を巻き込めてはいない	3	一般生徒のボランティアに対する意識がまだまだ低い。	多くの参加者が出るように広報活動を積極的に行っていく。	校内のボランティアの呼びかけだけでなく、校外のものについても積極的に参加を呼びかけていく。
進路指導部	就職		就職希望者全員の内定を目指す。	求人開拓、進路意識の向上、職業観の育成、職業理解、就職相談、面接指導、一般常識力・基礎学力の定着に取り組む。	4 年内の全員内定 3 卒業時全員内定 2 未内定者2名以内 1 未内定者2名超		現在、採否結果が出ているようである。	4	昨年までと内定企業がかかなり変わったが、希望者の年内内定ができた。	不合格の対応について各所と連携し進める。	求人増加に努めるとともに、生徒の意識向上や内定獲得に結び付く力を充実する。
			早期離職者(1年以内)の減少を目指す。	主体的な進路実現ができるよう生徒の自己理解、就職目的の明確化、企業情報の収集環境整備に取り組み、また企業との連携を深め早期離職対策をとる。	4 1年以内なし 3 // 2名以内 2 // 5名以内 1 // 5名超		この春の卒業の者で1名が判明している。	3	1年後の状況のため、3月に入ってから調査する予定である。今のところ2名の離職が判明している。	機会ある毎に企業からの情報収集に努める。	第1志望の企業が離職率が低いといわれるので、できる限り一次合格できるよう指導する。
	進学		国公立私立難関校合格を目指す。	進学相談、進学課外、個別指導、校外模試環境の充実に取り組み、学力試験や面接試験の対策をする。	4 合格者2名以上 3 1名 2 受験者あり 1 受験者なし		現在指導中	4	今年度は、生徒の第一志望に合格した生徒がほとんどであった。	・生徒の進路希望に合わせて今後とも指導していきたい。	・来年度も担任の先生の協力の下、早期段階での進路指導に努めたい。
人権・同和教育部	人権・同和教育		人権問題についての啓発活動を行う。	LHRやたより、保護者版たより等を通じて人権・同和教育問題への理解を深める。	4 年間10回と保護者版が発行できた 3 年間10回 2 年間7～9回 1 年間6回以下		現在発行中	4	ではあるが、保護者版の発行回数少なかつた。	保護者版がまだ1回なので冬には必ず発行する。	保護者版の発行回数を増やしたいし、原稿も多くの先生方にも書いていただけるようお願いする。
保健・環境部	保健衛生		健康問題解決に向けて、幅広く情報を収集し、発信する。	保健便りや個別指導等を通して、疾病箇所の治療率向上を図る。	疾病治療率 4 90%以上 3 80%以上 2 60%以上 1 60%未満	1	治療率63% (歯のみ53%)	3	治療率88.5% (歯のみ80.8%)	担任や部活動顧問からも指導してもらう	治療率はかなり上がったが、歯科が80%止まりであった。費用と時間がかかるため。
				3年生のはしか予防接種を今年度中に完全に行わせる。	接種率 4 100% 3 95%以上 2 90%以上 1 90%未満	1	86%	2	90%	100%に近づけるように更に呼びかけていく	未接種者を呼び出して何度か呼びかけたが、100%にならなかった。家庭の事情もあるようである。

			保健室利用生徒について、担任や各分掌担当者と情報交換を密にする。		よく出来ている		よく出来ている	連携して対応できるように、気になる生徒に関する情報は早めに連絡する	引き続き、情報の連絡をしていけるようにしたい。		
教育相談		生徒の変化に素早く対応できるように、情報交換会を持ち、指導に取り組む。	スクールカウンセラーの来校日に合わせて、情報交換や指導についての話し合いの会を持ち、迅速な対応に努める。	4 ほぼ毎回、会を持てた 3 大体、会を持てた 2 あまり会を持てなかった 1 ほとんど会を持てなかった	3	学校の現状に合わせて考えると、大体必要なタイミングで会を持つことができた。	3	生徒の変化が顕著な時期にあつて、関係職員でこまめに話し合いを持つことができた。	例年、生徒の変化が顕著になる時期を迎え、情報収集を確実にし、早く対応できるようにしたい。	・話し合いの形態にあまりとらわれることなく、情報交換の場が持てるよう工夫する。 ・生徒の抱える問題は多岐にまたがるので生徒指導との情報交換もスムーズに行えるよう運営を再検討できたらと思う。	
防災・安全		学校生活全般における生徒の事故の予防、及び災害発生時の被害拡大の防止と生徒・職員の生命の安全並びに学校の施設・設備の保全を図ることを目標とする。	普段の生活において、生徒及び職員に防災思想を普及徹底させ、併せて年2回(5月・12月)避難・誘導・消火の各訓練を連携して実施する。	4 よくできた 3 できた 2 ややできた 1 できなかった	3	春(5月)の防災訓練は、事故等もなく予定通りに実施できた。また、校内の危険箇所の点検と修理、および施設・設備の保全についても、順調に実施できている。	3	冬(12月)の防災訓練は、事故等もなく実施できたが、歩いて避難する生徒もいる。今後も、生徒への防災思想の普及に徹底したい。また、校内の危険箇所の点検と修理については、引き続き順調に実施できた。	冬(12月)の防災訓練に向けて、早めに消防署との打合せをして、準備に取り掛かり、防災思想の普及に努めたい。また、校内の危険箇所の点検と修理、および施設・設備の保全についても、引き続き実施をしていきたい。	12月の避難訓練の際に、2年生の避難経路を、玄関より運動場へ、避難するように変更をした。2階での混雑が、多少なりとも解消し、スムーズに避難できたと思う。	
美化緑化賞		清掃をしっかりと行い、学習や生活しやすい教育環境を整える。	掃除用具を美化委員が点検、整備する。必要な備品は、取りやすい場所に置き、掃除担当者が補充できるようにする。	4 よくできた 3 できた 2 ややできた 1 できなかった	3	美化委員が掃除道具の修理整備を行った。必要な掃除用具はとりやすくし、新型のワゴンも考慮し、掃除用具に火箸を配った。	3	大掃除のとき美化委員が校内を回り壊れた道具を良いものに取り替えた。	破損した掃除用具はそのままにしないで早めに整備する。校内の木が多いので、落ち葉や剪定した処理をどうするか検討が必要である。	必要なものを必要なだけ準備し、在庫を抱えず満足のいく用意を進める。	
教育情報部	情報システム	1人1台パソコンの配備に関わり、業務に使いやすい環境を整備する。	ネットワークの停止やマシントラブルが起らないようにする。	4. トラブル回数が5回未満 3 〃が10回未満 2 〃が15回未満 1 〃が20回以上	3	多少のトラブルが合ったが、大きな問題は発生しなかった。	3	大きなトラブルが無く、運用ができています。	大きなトラブルは無いが、改善点はいくつかあり、それらを解決していきたい。	運用では今年度と同じように行っていきたい。データ量が増えているのでそれについて対策を進めていきたい。	
	視聴覚	授業への視聴覚機器の利用を増やす。	全講座で、視聴覚機器を年1回以上利用してもらう。	4 8割以上 3 6割以上 2 4割以上 1 4割以下	3	利用している講座に偏りがあり、まだまだ活用されていない講座が多いと思われる。	3	まだ偏りはあるものの、多くの講座で、利用してもらえるようになった。	今後、何らかの形で利用をしてもらうように進めていきたい。	年間何回も利用している講座がある反面、されてない講座もあるので、利用を呼びかけていきたい。	
	図書	その他	図書室の利用促進を図る。	授業・LHRなどを通して、書物にふれる機会を増やし、積極的な利用の促進を図る。	4 ほぼ毎日 3 週に数回 2 月に数回 1 ほとんど利用しない	2	まだ十分な利用状況とはなっていない。	3	授業での利用や、放課後の利用は増えたが、貸出数の増加にはつながっていない。	今後、いろいろな機会を通して、図書室の利用、本の貸し出しの促進を図りたい。	読書週間などの学校行事と関連させた取り組みや、図書室での企画などを行い、利用の促進を図っていきたい。
	広報		本校の教育活動を保護者に紹介する。	三豊工便りを8月を除き毎月発行する。	4 11回以上発行 3 9、10回 2 7、8回 1 6回以下	4	毎月発行できている。	4	毎月発行できている。	これを続けていく。	期待を持って読まれるように、内容の充実に努力する。

教科・分掌名	項目	具体的目標 (PLAN)	具体的な取り組み (DO)	具体的な評価基 (具体的な達成目標) (数値目標など)	評価 (CHECK)		中間評価をうけての今後の取組	次年度への課題や更新、改革案 (ACTION)		
					中間評価	期末評価				
国語科	①	常用漢字の読み書きができるようにする。	年間4回漢字テストを実施する。	4 合格者(75点以上)8割以上 3 6割以上 2 4割以上 1 4割未満	3	1年生は合格率が8割に達しているが、3年生が5割と低い。	3	1年生は良く取り組んでいるが、3年生はなかなか向上しない。	可能な限りきめ細かい指導をしていく。	1年生での取り組みを継続させていくことが今後の課題である。
地歴・公民科	①	一般常識を確実に身につける。	毎時間小問題を実施し、授業内容を定着させる。	4 毎時間実施 3 2回に一度実施 2 定期考査の前に実施 1 学期に一度実施	3	小問題ができる範囲まで、なかなか進まない。	3	2学期の中間テストまでは順調に進んだが、以後、生徒の意欲が減退した。	生徒一人では小問題とはいえ解答しにくいようだ。教員の補助が必要。	作業を伴う問題に替えてみようと思う。
		現在世界で起こっている様々な問題について、歴史的見地から考えることができる。	現代史に重点を置き、具体的な紛争を例に一緒に考える。また、視聴覚教材の活用により理解を深める。	4 年8回以上実施 3 年5回実施 2 年3回実施 1 3回以下		期末考査終了後実施した。	3	実施できた。	視聴覚機器が使える教室がもっとあればいいと思う。	移動式テレビにDVDプレーヤーを設置してほしい。
数学科	①	基礎的計算力の定着。	小テスト(年7~8回)の対策の時間を十分に確保する。	4 平均8以上(10点満点) 3 平均6以上 2 平均4以上 1 平均3以下	3	5点とれていない生徒の指導ができていない。	3	基礎力の定着をしていない生徒がまだ多い。	不得意生徒の指導を改善したい。	就職試験の時期と絡めて計算力の必要性をもっと生徒にアピールしていきたい。
理科	①	学習に対する内発的動機付けを高める。	発問を多くし、発表の機会を増やす。	4 毎時間3回以上 3 2回以上	4	全体としては大変よい。	4	今年度は1・2年生を中心に積極的	個人差が大きいので、回数の少ない者は指名し	内発的な動機付けは生徒に分かるという実感

				2 1回以上 1 なし				であった。	て発表させる。	がないと起こらないので、理解度を確認しながら行う。
体育科	①	集団行動での規律を高める。	集合時の姿勢や、あいさつの声の大きさについて気をつける。	4 注意 5回以内 3 注意10回以内 2 注意15回以内 1 注意20回以上	3	授業開始時にほぼ毎回注意しなければならない状況にある。	4	毎回注意しなければならぬような状況は改善されてきたが、まだ十分とはいえない。	あきらめることなく、毎時間注意喚起していく。	毎時間注意喚起していく指導を継続する。
英語科	①	基礎的な語彙力を増す。	年間3回の小テストを実施する。	4 合格者(75点以上)8割以上 3 6割以上 2 4割以上 1 4割未満	3	3年生 評価3 2年生 評価3 1年生 評価4	3	3年生 評価3 2年生 評価3 1年生 評価4	2学期以降の3年生の意欲をいかに維持していくかについて、指導方法を工夫していきたい。	課題プリント等により各学年8割以上の合格者が出るように指導を工夫する。
	②	検定試験の受験促進。	授業の中にリスニング活動を効果的に取り入れる。	4 5割以上 3 3割以上 2 1割以上 1 1割未満	4	実用英語検定 評価4 リスニング英語検定 評価4	4	年間1回の実施なので中間評価と同じである。	今後も受験指導をすすめていきたい。	複数回受験者が出るように受験をすすめたい。
家庭科		家庭科に対する興味・関心を高める。	家庭クラブ主催のクリエイティブコンテストでは、4年連続入賞した。困難な作業であるが今年も応募はする予定である。	1年生全員でタペストリーの製作に取り組み、完成させる。	5	9月から、製作を開始した	5	家庭クラブ主催のクリエイティブコンテストで、応募総数1047点の中から優秀賞(全国第2位)に選ばれた。	今年も全員完成を目指したい。個人差があるので、放課後、相当、実習時間を要する生徒もいると思われる。	表章式に出席して、文部科学省をはじめ各方面から高い評価をいただいた。授業は2単位なので、放課後も、相当な時間、実習をして完成にこぎつけた。
機械科	②	各種資格の取得推進。	授業や課外を通して、各種の資格取得に取り組む。	全員の生徒が、一年間に1つ以上の資格取得を目指す。		よい取り組みができてきている。		標準テストや情報技術検定に全員が取り組んでいる	次の目標をはっきりさせ、早めの準備をさせる。	全員受験の基礎的検定の合格率を上げる対策が必要。
	③		2級・3級機械技能士試験に挑戦する			たいへん優秀な結果が出そうである。		本年度、新しく、機械検査技能士3級に8名の2,3年生が挑戦中。	次年度に向けて、候補生徒の確保をする。	各種技能士の資格を取得させたいが、施設、資金や指導者に制限がある。
電気科	②	電気工事士等の電気関係の資格に挑戦させる。	第2種電気工事士は2年全員受験、第1種電気工事士は10名程度の受験、電験3種は数名受験させたい	努力はするが何名の合格者を出せるかは未定。		第2種電気工事士については2年全員が受験した。第1種電気工事士は現在11名が課外を受講している。		第2種電気工事士の合格者がやや少ない結果となったが、第1種電気工事の筆記試験は5名の合格者を出すことができた。	第1種電気工事士試験に向けて継続して指導する。	来年も本年度並の国家試験受験者を目指したい。
電子科	②	資格取得の推進。	実習の時間や放課後を利用して技術指導に当たる。 1年 パソコン利用技術検定3級30名 全員 情報技術検定3級30名 全員 2年 電気工事士試験第2種35名 全員	生徒は、各学年で専門の資格に1つ以上合格する。		1年 パソコン利用技術検定3級29名/30名97% 2年 電気工事士試験第2種筆記29/35名83% 実技16/29名55% 3年 電気工事士試験第2種実技3/5名60%		第2種電気工事士の合格者がやや少ない結果となったが、第1種電気工事の筆記試験は5名の合格者を出すことができた。	さらに1年生の希望者には、パソコン技術検定2級を受験チャレンジさせたい。	希望者が受験したパソコン利用技術検定2級の合格率は例年よりもよかった。3級不合格者もがんばり、2級を合格した。また、残念な結果となり不合格の者も、もう少しで合格の成績であった。技術や技能の習得には十分だったと考えるので実習や課外を行い受験する予定である。 電気工事士については、まず、全員が筆記試験を合格できるように受験意識を高揚させ、今まで以上に分野ごとにチェックをかけながら指導していきたい。
	③		技能検定3級(電子回路組立)4名			技能検定3級(電子回路組立)4/4名100% ものづくり四国大会2位 若年者ものづくり全国大会出場		1年 パソコン技術検定2級19名/26名73% (1名欠席25名受験)	今後さらに実際の現場に繋がる実技の能力を高めるため、1年生から電子回路、組立技術のレベルをアップしていきたい。2年生は3年次に2級受験など上級へのチャレンジ、全国大会、四国大会での活躍を目指したい。	来年は、さらに技能検定2級の実験に向けて、指導を開始しようと考えている。年度内に1度指導を行う予定である。
	②		3年 進路先を決定する 全員						3年 ほぼ達成96% (1/14現在)	